

デンカハードロックⅡ

弾性ロックR

1 はじめに

高度化する土木・建築のニーズにお応えしてきたアクリル系高性能接着剤の適用シーンがまた広がりました。

「デンカハードロックⅡ 弾性ロック」は、硬化後も柔軟性を持ち変形追随性を有する接着層を形成します。

2 特徴

- ①低弾性率で接着層が柔軟性を持ちます。
- ②速硬化を詠うアクリル系接着剤の特徴を持ちます。
- ③低温硬化性に優れ、 -5°C の環境下でも硬化します。
- ④環境ホルモン物質ビスフェノールAを含みません。

3 用途

- ☆コンクリート構造物のひび割れ補修（非構造用途）
- ☆目地部充填

4 荷姿

6kgセット（A剤・B剤 各3kg）

5 材料の性状例

項目	単位	A剤(代表値)	B剤(代表値)	試験方法
外観	—	白色系粘稠液	濃青色系粘稠液	目視
粘度(20℃)	mPa·s	20,000	4,000	JIS K 6833-1
液比重(20℃)	—	1.45	1.45	JIS K 7232
混合比率	重量または容量比	1	1	—

6 硬化特性

項目	単位	代表値	試験方法
可使時間(20℃)	分	30	温度上昇法
硬化時間(20℃)	分	60	

Denka

7 性状例

硬化物特性			
項目	単位	代表値	試験方法
引張強さ	N/mm ²	0.80	JIS K 7161-1
引張弾性率	N/mm ²	0.25	
破断伸び	%	200	
接着特性			
モルタル付着力	N/mm ²	0.50	建研式
破壊状態	—	接着剤凝集破壊	








8 使用方法

(1) 施工面の前処理

施工面のエフロ・泥・砂・水・油などの付着物を、ウエスでよく拭き取るか研磨して除去してください。

(2) A剤とB剤の混合と接着

A剤とB剤を重量比（または容量比）1：1で混合し、通常の器材により注入・充填し接着してください。


警告







●ハードロックIIは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。
 ●一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
 ●皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
 ●作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。
 ●目に入れたり、飲んだり絶対にしてしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。
 ●湿気や金属との接触を避け、密栓の上冷暗所に保存してください。
 ●廃棄する場合は、A/B剤を少量ずつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した(硬化中)の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。
 ●接着剤が付着した可燃物(ウエス、段ボール、養生シート等)、注入器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。
 ●本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

自然発火の注意

- ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- 樹脂の付着したウエス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- 硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



デンカ株式会社 インフラ・ソーシャルソリューション部門 特殊混和材部
 〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1
 電話 03-5290-5363 FAX 03-5280-5085